

くろしお協力隊に聞く



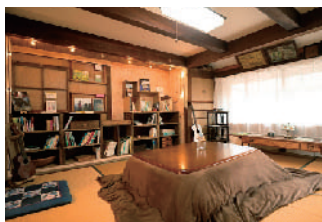
【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(情報発信コーディネーター)
にしかわ たいこ
西川 太悟

Q 協力隊の任期も半分を過ぎました。最近のお仕事はありますか？

A YouTube担当に新たに協力隊の仲間が加わり、切磋琢磨しあえる良い関係で、楽しく、協力しながら情報発信ができています。現在(2月13日インタビュー時点)、460人以上の方にYouTubeを登録いただいている、少しずつ町の魅力や四季折々の景色をお届けできているのではないかと考えています。私は今、1か月に1回、1つの地域や季節の出来事に焦点を当てた「Imagine Kuroshio」や、「それいけ!くろしお隊」という、地域おこし協力隊を通して町の魅力を発信するコーナーを主に作成しています。安心して見られる映像作りを心掛けており、伝わりやすく、わかりやすい表現で発信できるように試行錯誤しています。さらに、海外の方にも見つけて楽しんでもらえるように、国際交流員のクレーマ・リンストロームさんに協力いただきながら、英語字幕もつけています。皆さんにアドバイスをいただきながら、楽しく仕事をしています。

Q 任期終了後は町の暮らしを体験できる場所を作りたいということでしたが、準備は進んでいますか？

A 築130年の古民家を地域の方や協力隊仲間に手伝ってもらいながら改修中で、少しずつ開放しています。「みんなで創る みんなの居場所」をコンセプトに年齢や立場など関係なく、誰もがフラットにゆる〜く繋がる公園のような居場所づくりをめざしています。月1回読書会や、ご飯会などを開催していて、週末はコーヒーを飲んでゆったり自由に過ごしてもらえる開放日も用意しています。また、学習塾や集まりごとなどのレンタルスペースとしても使ってもらっています。今後は旅行者の方、お遍路さんや海外の方にも気軽に黒潮町に滞在してもらえるように宿泊できるスペースも作っていきたくて考えています。小さいお子さんからご年配の方まで、お気軽にふらっとお立ち寄りください。



改修中の古民家の様子

協力隊から一言!

面白い場所や季節感を感じられる場所など、これからも町の魅力をYouTubeで伝えていきたいと思います。

Kramer's Corner クレーマのコーナー



今月のテーマ スプリングブレイク

早いものでもう3月です。日本の学生たちは学年末を心待ちにし、4月の新学期をワクワクした気持ちで迎えていることでしょう。アメリカでは、学校年度は夏休み明けの秋に始まり翌年の初夏に終わるため、アメリカ人の学生が今月楽しみにしているのは学年末ではなく、スプリングブレイクです。スプリングブレイクは春休みという意味で、3月または4月にある1週間程度の休みです。日本の春休みと違って学期中に行われ、学年度終了前の最後の長期休暇となります。

スプリングブレイクの過ごし方は人それぞれですが、部活で遠足する人が多いです。一般的にアメリカの学校は日本のように学年全員で行く修学旅行がなく、代わりに部活を通じて修学旅行を行います。僕の場合はオーケストラ部でビオラを弾いたので、スプリングブレイクにオーケストラ部のメンバーと一緒にカリフォルニア州のディズニーランドに行き、そこで演奏しパークを満喫しました。

しかし、アメリカ文化においてスプリングブレイクの最も多くあるイメージは、友達と一緒にビーチに行き、大騒ぎしパーティーをすることです。スプリングブレイクの間、カリフォルニア、フロリダ、メキシコなどにある人気のビーチは、高校生や大学生で驚くほど混雑し、砂浜でコンサートやダンスパーティーが開かれます。浜辺の街にとって商売には絶好の時期だが、毎年手に負えないほどらんちき騒ぎになるパーティーがいくつかあり、地元の警察にとってはかなり大変な時期でもあります。



今月の使える! 英語

スプリング ブレイカー
Spring breaker

スプリングブレイクの間、ビーチを楽しむ人はspring(スプリング) breaker(ブレイカー)と言います。今年黒潮町のビーチにも来るのかな…。

